

## 平成 22 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

### 1 集落協定の概要

都道県名：愛媛県

市町村名：松山市

協定締結集落名：津和地集落

交付金額：8, 0 2 4 千円

協定参加世帯数：5 9 人（うち漁業世帯 5 9 人）

### 2 協定締結の経緯

津和地集落は、豊富な魚介類が生息する貴重な漁場を有し、一本釣り、刺し網、吾智網、たこつぼ漁などの漁船漁業のほか、ヒラメ、アワビの養殖が行われている。離島というハンディを抱え、基幹産業である漁業において、漁業者の減少や高齢化が進行している。また、魚価の低迷に加え燃料費の高騰により、厳しい状況におかれている。

こうしたことから、沿岸漁業資源の維持・拡大、漁場環境の保全、新規漁業の導入、漁業集落の活性化、所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

### 3 取組の内容

#### ①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・年間を通じて水質検査を実施した。（年間 84 回）
- ・景観や自然環境を保全するため、集落周辺の海岸清掃を年 3 回、海底清掃を年 1 回実施した。
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視及び夜間監視を行った。（年間 20 回）
- ・食害の被害を防ぐためにエイの駆除を行った。

#### ②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・所得の向上と集落の活性化を図るため、新たに採介藻漁業に着業し、ヒジキ養殖に取り組むロープにヒジキの若芽を挟み込み海上に張った。また、販売促進のために農林水産まつり等のイベントに参加し、特産物の啓発普及を行った。

#### 4 取組の成果

- ・定期的に水質検査を実施することにより、良好な養殖漁場の環境保全と検査結果を記録することで、今後の事業に役立つことが期待できる。
- ・海岸及び海底清掃を実施することにより、自然環境の保護が図られた。
- ・漁場監視を実施することにより、地先資源の保護が図られ、違反操業の減少が期待される。
- ・エイの駆除を行うことで、魚介類の食害を防ぎ漁業生産力の向上が図られた。
- ・新たに水産物の簡易加工に共同で取り組むことにより、地域コミュニティの活性化が図られるとともに、イベントで加工品を販売することにより都市住民との交流が図られた。

|                                                                                     |                                                                                      |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| ヒジキの海面養殖                                                                            | 有害魚種（エイ）の駆除                                                                          |
|   |   |
| ヒジキの海面養殖                                                                            | 加工販売                                                                                 |
|  |  |